

第21回愛媛大学教職員作品展企画 「気軽に俳句を詠んでみよう」

学長賞 特選 (10句)

番	句	学校／所属等	氏名／ペンネーム
1	山のぼりむねいっばいのしんこきゅう	附属小学校 一年	森實 花
2	ありのむれ大きなセミをはこぶ朝	附属小学校 二年	福井秀久
3	リコーダーせみにエーデルワイスふく	附属小学校 三年	田中理宇
4	ガタゴトンかげろうの中電車行く	附属小学校 四年	古川 聖
5	朝つゆのほう石つなぐくもの糸	附属小学校 四年	富岡大久杜
6	仲直り妹にラムネポンと開け	附属小学校 六年	河合響生
7	病院の母と一緒に星祭る	附属中学校 二年	江口雄有斗
8	一漕ぎに気合いこめたる夏合宿	附属高等学校 一年	忽那亮汰
9	炎天下ミットめがけてサイドスロー	附属高等学校 二年	山本安師亮
10	草むらのカマキリつかみガッツポーズ	大学本部等 (家族)	大本湊太

入選 (24句)

番	句	学校／所属等	氏名／ペンネーム
1	かわのうえいわからじゃんぷじゃぷーんじゃぷん	附属小学校 一年	かつやたいち
2	魚とりもぐってさがす川のそこ	附属小学校 二年	山田たまき
3	ひまわりも教室のぞくよ参観日	附属小学校 三年	加藤佳乃理
4	夏の空くもが青くて海みたい	附属小学校 三年	中畑魁音
5	勝ち点を自分で入れる最高の夏	附属小学校 四年	門屋陸仁
6	静水の川底とどく手アユの群れ	附属小学校 五年	柴田菜々子
7	夏休みいつもとちがう私と車内	附属小学校 五年	藤岡 凜
8	じっとりと汗かく祖谷のかずら橋	附属小学校 六年	加地康平
9	あつあつのじゃこ天ほおぼる夏波止場	附属小学校 六年	毛利桜子
10	おじぎそうラジオにむかって葉を開く	附属小学校 六年	鮎田青空
11	雨音で遠ざかる声春の暮	附属中学校 三年	岡本 瞳
12	ちびた消しゴム昔の私かき氷	附属高等学校 一年	眞鍋茜音
13	夕風やひとりぼっちの無人駅	附属高等学校 二年	板谷寛希
14	みんなの視線一直線蛇苺	附属高等学校 二年	中岡柚子
15	祈る先耳を澄ませば蝉時雨	附属高等学校 二年	安永蒼生
16	南風上手く曲がれよ変化球	附属高等学校 二年	十倉久弥
17	今日もまた一人で帰宅大西日	附属高等学校 二年	兵頭和真
18	夏あざみ生まれ変わると決めた夜	附属高等学校 二年	中矢梨々花
19	テーブルに重なるノート熱帯夜	附属高等学校 二年	秋月紅葉
20	心まで変えていくのか秋の暮	附属高等学校 三年	宮元美咲
21	風蘭の匂ふ玄関戸締りす	図書館 (家族)	宮部富佐子
22	鳥瞰図の地名のふとし雲の峰	大学本部等	マーペー
23	ヒヤシンス距離はあります敬語です	大学本部等 (家族)	日暮屋又郎
24	かき氷君には君の好きな道	大学本部等	河野眞知子